

研究業績調書(記入例)

| 番号 | 年 月 | 著 書 ・ 論 文 等 (出版社・頁数等) |
|----------|----------------|--|
| | | 著 書 |
| 1 | 1996年 5月 | (分・共) 日立次郎・茨城太郎「明治時代の茨城県美術一岡倉天心と六角堂一」阿見三郎(編)『茨城の歴史と文化』(〇〇出版社) 65-85頁。 |
| 2 | 1990年 4月 | (単)“Assessing attachment in Ibaraki,” <i>Interdisciplinary Assessment of Ibaraki</i> , 165pp. |
| 番号 | 年 月 (西暦で記す) | 和文の場合、以下の(1)～(6)を、区切り記号や改行なしで連記する。 (1) 分担・共単著の別：分担単著の場合(分・単)、分担共著の場合(分・共)、単著の場合(単)とする。 (2) 著者名：単著の場合著者名は省略し、共著の場合は著者名を「・(中黒)」で連記し、自分の名前に下線を付す。共著者多数の場合は可能な範囲で省略する(例：〇〇他△名のうち□番号)。 (3) 題名：「題名」とする。 (4) 書名：編者名(編)『書名』とする。 (5) 出版社：(出版社)とする。 (6) 頁：頁始め- (半角のダッシュ) 頁終わり、あるいは総頁数。 (7) 行末：行末は「. (全角ピリオド)」を付す。 |
| 番号 | 年 月 (西暦で記す) | 英文の場合、以下の(1)～(5)を、「(半角カンマ)」で区切る (1) 共単著の別：共著の場合(共)、単著の場合(単)とする。 (2) 著者名：単著の場合著者名は省略し、共著の場合は著者名を「(半角カンマ)」で区切って連記し、自分の名前に下線を付す。共著者多数の場合は可能な範囲で省略する。 (3) 題名：“題名”とする。 (4) 書名：書名(イタリック)とする。 (5) 頁：pp. 頁始め-頁終わり(例：pp. 1-10)、あるいは総頁数(例：165pp.)。 (6) 行末：行末は「. (半角ピリオド)」を付す。 |
| | | 論 文 |
| 1 | 2000年 | (共)Mito, H. Hitachi, J. Ibaraki, T. and Ami, S, “The dialect of Ibaraki” <i>Journal of Ibaraki Science</i> , Vol.100, No.6, pp.437-443. |
| 2 | 2003年 5月 | (単)「茨城の言語—そのイントネーションと魅力」『茨城』(〇〇書店)第14巻第5号, 34-39頁。 |
| 番号 | 年 月 (西暦で記す) | 和文の場合、以下の(1)～(6)を、区切り記号や改行なしで連記 (1) 共単著の別：共著の場合(共)、単著の場合(単)とする。 (2) 著者名：単著の場合著者名は省略し、共著の場合は著者名を「・(中黒)」で連記し、自分の名前に下線を付す。共著者多数の場合は可能な範囲で省略する(例：〇〇他△名のうち□番号)。 (3) 題名：「題名」とする。 (4) 誌名：編者名(編)『誌名』とする。 (5) 出版社(者)：(出版社(者))とする(学会名等も出版者とする)。 (6) 巻号頁：第1巻第2号, 頁始め-頁終わり(例：1-10頁)。 (7) 行末：行末は「. (全角ピリオド)」を付す。 |
| 番号 | 年 月 (西暦で記す) | 英文の場合、以下の(1)～(5)を、「(半角カンマ)」で区切る (1) 共単著の別：共著の場合(共)、単著の場合(単)とする。 (2) 著者名：単著の場合著者名は省略し、共著の場合は著者名を「(半角カンマ)」で区切って連記し、自分の名前に下線を付す。共著者多数の場合は可能な範囲で省略する。 (3) 題名：“題名”とする。 (4) 誌名：誌名(イタリック)とする。 (5) 巻号頁：Vol. 1, No. 2, pp. 頁始め-頁終わり(例：pp. 1-10)とする。 (6) 行末：行末は「. (半角ピリオド)」を付す。 |
| | | 教 科 書 |
| 1 | 年 月 | 上記、論文を参考に記載 |
| | | 翻 訳 |
| 1 | 年 月 | 上記、論文を参考に記載 |
| | | そ の 他 |
| 1 | 年 月 | |
| 上記以外の業績： | | |
| 著書 | 編、論文 | 編(最近5年 |
| 教科書 | 編、翻訳 | 編、その他 |
| | | 業績総数 |
| | | 編 |